

北海道大学病院に組織移植医療部(組織バンク)を新設 ～北海道における組織移植医療の発展を目指して～

【ポイント】

北海道大学病院(病院長：南須原 康行)は、北海道で初となる「組織移植」を行うための独立した部門として、組織移植医療部を2025年2月に設置しました。同部は、組織移植実施のための専門バンクとして、組織移植に用いる組織の加工・保管・管理・供給の実施を目指しています。尊いご意思による組織提供を基に、組織移植医療の定着と発展を目指して活動します。

組織移植医療部長：

嶋村 剛(日本組織移植学会認定医)北海道大学病院 診療教授

組織移植医療部副部長(メディカルディレクター)：

渡辺 正明(日本組織移植学会認定医)北海道大学医学部 特任講師

組織移植コーディネーター：

高橋 美香(北海道臓器移植コーディネーター・日本組織移植学会認定コーディネーター)

藤田 美香(北海道大学病院院内コーディネーター・組織移植コーディネーター)

【概要】

臓器の機能障害に対する根治的治療法である臓器移植は、免疫抑制剤の開発や手術手技の進歩などにより、現在では一般的な医療として実施されています。北海道大学病院は、心臓、肺、腎臓、肝臓、膵臓及び小腸の移植実施施設として認定されており、脳死下又は心停止後の臓器提供者(ドナー)から、これら臓器の移植が可能となっています。

ドナーからは、臓器だけでなく組織(皮膚、骨、膵島、心臓弁、血管など)を提供いただくことも可能で、提供いただいた組織による組織移植を実施できます。現在、心臓弁や血管を用いた凍結保存同種組織移植術(ホモグラフト)、同種骨移植術、1型糖尿病に対する同種死体膵島移植術、広範囲熱傷に対する皮膚移植術がこれに該当し、妊婦から提供された羊膜を移植する羊膜移植術(眼科手術)を含め、それぞれ国が認めた医療として保険収載されています。

現在、我が国では、社団法人日本組織移植学会の認定を受けた「組織バンク」において組織をいただく手術や加工・保管等を行っていますが、北海道にはこの認定を受けた組織はありません。このことを踏まえ、北海道大学病院では、2025年2月に組織移植医療部を設置し、同学会による組織バンク認定を目指しています。認定された場合、組織移植に用いる組織の加工・保管・管理・供給を行うことが可能になります。

現在、道外には同学会の認定を受けた19の組織バンクがありますが、対応可能な組織は限られます。

同部は、同学会が定める全ての組織に対応できる組織バンクを目指します。そして、北海道大学病院内のみならず、道内の医療施設に保管した組織を供出する役割を担うことで、組織の加工・保管と組織移植実施の両面から、北海道の組織移植医療の中核となることを目指します。さらに組織提供・組織移植についての広報活動を行い、北海道の組織移植医療の発展に寄与していきたいと考えています。

お問い合わせ先

北海道大学病院組織移植医療部 嶋村 剛(しまむら つよし)

T E L 011-706-7063 F A X 011-706-7064 メール t_shima@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係(〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目)

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp